



# 株式会社 アルプス技研 会社概要

- ◇創業 1968年7月 機電一体化をコンセプトに請負設計事業として開業
- ◇設立 1971年1月
- ◇上場区分 東京証券取引所市場第一部（コード番号4641）
- ◇資本金 23億47百万円（2012年12月末現在）
- ◇売上高 連結174億60百万円／個別153億74百万円（2012年12月期）
- ◇従業員数 連結2,565名／個別2,283名（2012年12月末現在）
- ◇事業内容 技術者の派遣事業（一般労働者派遣 事業許可番号 般 14-090001）  
技術プロジェクトの受託事業（開発、設計、試作、製造、評価）
- ◇本社所在地 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC 18階



<http://myanmarfestival.org>



<http://www.gmijp.net/>



<http://www.alpsgiken.co.jp/>

## ミャンマー人材育成への取り組み

### ミャンマーとの出会い

1996年当時、株式会社アルプス技研 代表取締役社長であった松井利夫（現創業者最高顧問）は、まだ軍事政権が色濃かったミャンマーに現地視察の為、渡航致しました。

そこで触れたミャンマー人の勤勉さ、義理人情、ホスピタリティの高さに感銘を受けるとともに、発展のままならない経済状況を目の当たりにしました。

「ミャンマー人材の気質の良さを活かせば、将来きっと我が国にも恩恵をもたらす」との思いから、当社アルプス技研の得意分野を活かした現地人材の育成を構想し始めました。



▲開講式にて講演



▲テープカット



▲受け入れ社員と共に



▲介護現場を体験



▲温和で勤勉なミャンマー人



▲活気あふれるミャンマー

### 職業訓練スクール設立へ

帰国後、構想を実現すべく、調査を開始。様々な障害や困難を乗り越えながらも、ミャンマーの発展を目的に、人材育成事業の立ち上げを推し進めて参りました。

そして、2003年2月、松井が事業資金として私財の寄付金を提供したことにより、ミャンマーの当時の首都ヤンゴンにあるミャンマーICTパーク内にICT技術者養成トレーニングコースが開講致しました。ICTコースでは、初級・中級・上級と3コースを設置し、修了者は延べ約400名に上ります。

ICT技術者養成トレーニングコースに次いで、2004年4月には介護補助専門家養成コースがスタート。当時まだ介護の概念自体も浸透していないミャンマーにおいて、日本企業初となる介護に特化した教育コースを設けました。定員12名に対し、約280名の応募者が集まり、2005年には初級・中級コースの介護補助専門家修了生を輩出しております。

また、当社では人材育成と並行し、2003年よりミャンマー人材の受け入れも推進しており、旧AOTS（海外技術者研修協会）主催の高度IT実践研修による技術者受け入れに参画。研修生、社員合わせ、延べ10名を受け入れる等、人材の採用および活用に積極的に努めて参りました。

### NPO法人メコン総合研究所（GMI）とのつながり

「ミャンマー祭り2013」主催団体のひとつであるNPO法人メコン総合研究所とは、人材育成事業運営当時からカウンターパートとしてコース運営・コンサルティング・情報収集等において多大な支援・協力を頂き、松井は同研究所の名誉顧問を拝命しております。

当社では今後もミャンマーの発展に寄与するとともに、ミャンマーでの事業機会の発掘を目指すという事業方針のもと、メコン総合研究所の賛助会員として、現在もパートナーシップを継続しております。